

令和 8 年チューリップ露地栽培の開花状況について

令和 8 年 5 月 1 日
経営普及課
(農業革新支援担当)

チューリップ露地栽培の開花状況について、主要 7 品種の調査データを紹介します。

1 調査の概要

(1) 栽培場所

新潟県農業総合研究所園芸研究センター露地ほ場（北蒲原郡聖籠町大字真野）

(2) 球根サイズ

11cm 球（センター内で継続的に養成している球根を使用）

(3) 耕種概要

ア 植付け 令和 7 年 10 月 30 日

イ 施肥量 基肥 N : P₂O₅ : K₂O = 12 : 12 : 12 (kg/10a)

追肥 N : P₂O₅ : K₂O = 5 : 0 : 5 (kg/10a) 、令和 8 年 2 月 18 日施用

ウ 栽植密度 条間×株間 = 12×12 (cm) 、7 条植え

2 気象の推移

(1) 令和 7 年の気温は、10 月中旬までかなりの高温で推移したが、球根植付け期に入る 10 月下旬以降は急速に低下し、この時期の平均気温は発根適温とされる 14℃を概ね下回って推移した。この間、まとまった量の降雨もあり、土壤の乾き具合を見ながらの定植作業となった。

(2) 11 月中旬以降は平年に比べ概ね温暖で推移したものの、1 月下旬から 3 週間程度寒波が続き、園芸研究センターほ場では 1 月 20 日から 2 月 20 日頃まで積雪がみられた。

(3) 2 月中旬以降は一時的な低温もあったものの、現在まで概ね高温傾向が続いている。4 月の平均気温は平年に比べて 2℃ほど高く、日照時間及び降水量はほぼ平年並みの状況である。

3 生育の状況

(1) 萌芽期は平年並みで、2 月下旬の消雪時には一部の品種で萌芽が確認された。

(2) 開花日は、早生・中生品種では平年（過去 20 年平均）に比べて 9 日程度早く、晩生品種では 8 日程度早かった（7 品種平均で平年比 8.5 日早い）。

(3) 開花時の花丈は、品種間差はあるものの概ね平年並みであった。

(4) 開花時の第 1 葉の大きさ（長さ・幅）は、平年に比べて小ぶりであった。

(5) 今年はモザイク病（アブラムシ伝染性のウイルス性病害）がやや多く発生している。また、他のチューリップ球根産地のほ場でも一部でウイルス性病害やかいよう病の多発がみられる。砂丘地産地では強風時の飛砂による葉傷みもみられることから、今後ともウイルス株等の抜取りと病害虫防除の徹底が必要である。

4 具体的データ

表1 令和8年の生育実測値

系統	品 種	開花 月/日	花丈 (cm)	第1葉長 (cm)	第1葉幅 (cm)
SE	クリスマスドリーム	4/ 9	24.1	12.6	11.8
T	メリーウィドー	4/10	29.4	13.6	9.1
T	プレルジューム	4/12	31.9	14.3	10.4
DH	オックスフォード	4/13	37.8	16.0	12.5
T	イルデフランス	4/15	33.4	14.3	9.8
LF	バレリーナ	4/16	37.3	14.8	8.6
DL	アンジェリケ	4/18	33.7	13.5	10.6
7品種の平均		4/13.3	32.5	14.2	10.4

表2 平年（過去20年平均）と対比した生育状況

系統	品 種	平年差 (日)	花丈 (%)	第1葉長 (%)	第1葉幅 (%)
SE	クリスマスドリーム	-8.9	104	94	100
T	メリーウィドー	-8.9	110	87	90
T	プレルジューム	-9.0	104	85	83
DH	オックスフォード	-8.6	95	88	92
T	イルデフランス	-8.1	102	85	88
LF	バレリーナ	-7.9	105	88	92
DL	アンジェリケ	-8.1	92	84	88
7品種の平均		-8.5	101.7	87.3	90.3

表3 前年（令和7年）と対比した生育状況

系統	品 種	前年差 (日)	花丈 (%)	第1葉長 (%)	第1葉幅 (%)
SE	クリスマスドリーム	-9	99	93	95
T	メリーウィドー	-9	111	87	92
T	プレルジューム	-8	95	80	80
DH	オックスフォード	-7	79	69	88
T	イルデフランス	-7	103	87	91
LF	バレリーナ	-6	105	88	87
DL	アンジェリケ	-6	91	83	84
7品種の平均		-7.4	97.5	83.8	88.1

※ 表1～3：新潟県農業総合研究所園芸研究センターによる調査データ